

会 議 要 旨

会議の名称	令和元年度第4回川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
開催日時	令和2年2月18日（火）16時から17時37分まで
開催場所	川越市総合福祉センターオアシス 3階 社会適応訓練室
出席者（委員） 氏名（人数）	樋口委員、高橋委員、小野澤委員、田中（敏）委員、荻野委員、木内委員、佐藤委員、芝波田委員、岡庭委員、本郷委員、原委員、村上委員、柴田委員、島田委員、田中（克）委員（15名）
欠席者（委員） 氏名（人数）	原島委員、野村委員、藤倉委員（3名）
事務局職員 氏名	市：福祉部長、副部長兼福祉推進課長、福祉推進課職員 社協：事務局長、地域福祉課長、地域福祉課職員 コンサル：地域計画株式会社 大谷氏
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎調査の結果について (2) 次期計画策定の方向性について 4 その他 5 閉会
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 第四次川越市地域福祉計画等策定に係る基礎調査結果について（速報）</p> <p>資料2 川越市地域福祉計画 策定の方向性</p> <p>資料3 地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会 最終とりまとめ 概要</p> <p>資料4 川越市地域福祉活動計画 策定の方向性〈社協〉</p> <p>資料5 参考（現行計画）〈社協〉</p> <p>資料6 補足資料1（中間評価の抜粋）</p> <p>資料7 地域福祉専門分科会 委員名簿（令和2年2月3日現在）</p>

議 事 の 経 過

事務局	<p>1 開会 会議の公開についての承認</p> <p>2 挨拶等 ○佐藤会長挨拶 ○報告事項（委員の変更）《資料7》 ○過半数の委員出席による会議の成立の報告 ○会議資料の確認</p> <p>3 議題 (1)第四次川越市地域福祉計画に係る基礎調査の結果について ○資料1に基づき、基礎調査結果について事務局より説明。</p>
事務局	
委員	<p>(質疑、意見等)</p> <p>●もう少しクロス集計して考察した方がよい点がある。例えば、2ページ(2)②の「困っている・将来は不安がある・助けてもらっている」は置かれている属性と多く関係していると思われる。また、介護保険事業計画の調査結果と関連付けるのも場合によっては必要になるかと思う。</p>
議長	<p>●介護保険事業計画、障害者支援計画、子ども子育て支援事業計画等の他計画の声をすくい上げるのが地域福祉計画なので、それを踏まえて計画策定に活かしていただきたい。</p>
事務局	<p>⇒介護保健事業計画と障害者支援計画についても来年度策定となっている。関連付けて行っていくよう調整し、整理していきたいと考えている。</p>
委員	<p>●1ページの回答状況について、回収率は前回調査と比較してどうなのか。</p>
事務局	<p>⇒前回の結果はカテゴリーが多少違うが、一般市民調査46.5%、地区社協・自治会調査79.3%、民生委員調査90%、その他団体調査70.6%だった。今回の回答率について落ち込んだ原因として考えられるのは、無関心層の増加や台風第19号直後だったので、その影響と思われる。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ●再犯防止についての設問は、漠然としていて分かりにくかったのではないかと思う。そもそも一般の方は再犯防止のイメージがわきにくいと思うので、次期計画にはその周知も必要になるかと思う。
事務局	<p>⇒今回のアンケート調査には、市民の方が初めて聞くような用語については簡単な説明を入れて調査を行った。なるべくイメージがつくよう工夫をしたわけだが、結果をみると単に「わからない」と答える方はそんなに高くはなかったように思えた。</p>
事務局	<p>(2)次期計画策定の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料2、3、6に基づき、地域福祉計画策定の方向性について事務局（市）より説明。 ○資料4、5に基づき、地域福祉活動計画の策定の方向性について事務局（社協）より説明。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ○全体の確認 <p>大きな国の方向性としては、地域共生社会に向けて最終報告書がまとまったところである。</p> <p>社会福祉法の法律と重ねて何がいわれているのかということ、例えば、縦割りの相談機能じゃなく横断的にするということである。川越市の西口総合相談窓口はそれにあたり、大変良いと思う。ただ、従来からの機能とどう連動させていくかという意味でも、地域福祉計画は重要な役割となる。上位計画に位置付けられたということもあるので、他計画との整合性をしっかり図ることも重要となる。</p> <p>地域の仕組みをつくるというところでは、社協の活動計画により住民主体で支える仕組みづくりが重要になる。アンケート結果の概要によると、「問題意識があっても他人事と考えている人が多そうだ」というのが垣間見える。それをどう地区の体制・計画に反映していくか、また、どうサポートしていくかが次期計画では重要になってくるだろう。</p>
委員	<p>(質疑、意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これまで市としては第三次地域福祉計画、社協としては第四次地域福祉活動計画を進行管理してきたが、実際現場で稼働するのは22地区である。その22地区は立場や特性によって大きく違いがあるのが現状。自治会長など地域の方々の理解をぜひ得て、次期計画に反映してもらいたい。パブリックコメントだけではなく、その前段階でもぜひお願いしたい。

議長	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリックコメントは素案の段階で行うことになると思う。その前段階でも実際に地域の声を聴き、地区計画の見直しや計画本体に反映させられるとよい。
事務局	<p>⇒地区社協には働きかける予定でいる。見直し等の検討を含め提案する予定。生活支援整備体制でも地区別プランを参考にしているので、今後の取組の見直しとしてもらいたいと考えている。なるべく早めに取り掛かるよう働きかけ、計画本体にも反映したい。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ●次期計画については、実効性のある計画として、評価の仕方も重要になってくる。それを念頭に、次期計画策定には当たっていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ●障害をもった子供たちは、こちらが思っているコミュニケーションの仕方とは大きく異なる。彼ら自身が持っている地域があるため、地域性といっても様々なのが現状だと思う。そこを次期計画にどう反映していくか難しいところだと思う。また、高齢者の犯罪をみると独り身の方が8割となっている。こういった人たちも対象にするのが地域福祉計画であり、どう取り込んでいくのか考えなければいけないところである。
議長	<p>⇒地域から排除されがちな人や地域から見えにくい人たちについても、今後は考えていかなければいけない。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ●先ほどの地域の理解を得てほしいという意見に賛同する。介護保険事業計画では、22地区に対する調査をしていたと思うので、確認してみるのも地域特性をみるひとつの手段だと思う。災害が起きた時の現状をみると、地域に実際に住んでいる人の生の声を聴くことは非常に大事であると痛感している。22地区に重きを置いて、計画策定に活かせるとよいと思う。また、評価の仕方についてだが、目的を達成するための評価設定をしていきたい。なぜそれをすべきかをよく考え、評価にフィードバックしていかないといけない。数値化するのが難しいものもあるが、基礎調査の結果（例えば前回調査との比較）もよく踏まえ、今後検討していただきたい。
議長	<p>⇒数量評価、数字で拾えないものについては、アンケート調査の結果などから拾い、次期計画に向けて、評価について枠組みを整理していきたいところである。</p>

事務局

4 その他

来年度は策定年度となるため、開催日数が増えるので引き続きご協力頂きたい。また、4月中旬から5月の連休明けまでに社会福祉審議会全体会を予定している。通知等については、日程が決まり次第送付する。

5 閉会

[17時37分終了]